# 千秋だより

※ 発行者
千秋町連区地域づくり協議会
千秋町佐野字郷前2762番地
電話28－9010

## 千秋町連区見守りネットワーク

民生児童委員・老人クラブ連合会・連区町会長会が連携

平成25年5月31日（金）連区内の一人暮らしの高齢者などの世帯を対象に、ふれあい・助け合いの精神で見守っていくことを目的に、各団体の構成員（福祉委員という）を中心に情報の共有化と連携を図るため会議を開催した。

具体的には、民生児童委員に対象世帯の状況把握をしてもらうことになるが、各町内の例えば、組長・班長さん等末端の方にもご協力をお願いし、安全で安心して暮らせる町を目指してほしいと、誰もが願うものである。

## 連区女性部社会見学

6月6日（木）連区女性部による社会見学会を行った。江南市の森永乳業工場と犬山市の国宝茶室「如庵」を訪れ、工場では徹底した衛生管理の下製造される牛乳などの工程を見学、また名鉄犬山ホテル隣接の「有楽苑」内では四百年の歴史のある建造物を間近にし、旧きものと最新鋭システムとの対比を楽しんだ一日となりました。

〔←森永乳業で説明を聞く参加者〕

## 消防団南北各分団訓練を激励

5月29日（水）夜、及び6月4日（火）早朝の両日において、地元選出市議会議員と区域内の町会長らが消防本部の巡回に併せ、北分団と南分団をそれぞれ訪問し、地域の安全を担う団員を激励しました。

また、6月16日（日）には、尾西第三中学校において、消防団警防技術発表会が開催されるため、技術の更なる向上を、地域としても期待したいです。〔←北分団の訓練〕

## 公民館主催うなぎつかみ大会

6月2日（日）今年も恒例のうなぎつかみ大会が、公民館家庭学習部主催の、連区学校外活動推進事業・だんぼでどろんこ「自然体験学習」として開催された。毎年のことながら、非常に人気が高い事業でもあり、定員120名の募集枠は申込み初日で一杯になるほど。

〔←南分団の訓練〕

当日は、子どもたちが三つのグループに分かれ、それぞれ水田に放されたうなぎを追いかけた。とはいえ、泥の中に逃げ込むうなぎも必死だが、参観の親も応援に力が入る。捕まえる方の子どもたちも泥だらけになりながらも楽しそうであった。

やっとのことで捕まえたうなぎは、専門業者の方がさばいてタレ付きでもらえるため、各家庭ではすぐにでも食卓に上ることだろう。

## これは誰？“ねぎみん”出没

今更ながら「ゆるキャラ」といえば、きっといちみんが登場しますが、ご当地にも最近「ねぎみん」が出没するという情報が寄せられました。

今のところ、千秋児童館辺りで目撃されたとのことですが、いつ出てくるのかは不明。

（→カメラにポーズをとる「ねぎみん」）

**〔主な特徴〕**

頭の部分は、みどり色。手・足・胴は、しろい色。「千秋ねぎ」と、どこか似ている。など・・

## 「社会を明るくする運動」標語入賞作品

7月は、すべての国民が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るく安全で安心して暮らせる社会を築く強調月間です。

この趣旨に添い、今年も千秋中学校では全校生徒から標語を募り、審査の結果次のとおり入賞作品が決まりました。（敬称略）

**最優秀賞**

2年　眞野　みきの

「あいさつの　数だけ笑顔の　花が咲く」

**優秀賞**

3年　土屋　将悟

「大丈夫　君はいつでも　独りじゃない」

**特別賞**

1年　日置　純玲（すみれ）

「守りたい　一人の笑顔　みんなの笑顔」

## 末広大学6月講座

『知って対策　頭痛と　脳卒中のはなし』

6月7日（金）一宮西病院神経内科部長の山口啓二氏を招き、主に、「脳」のはなしが一般にも分かりやすく講義がなされました。

とかく頭が痛いとき、もしかして大病（脳卒中＝脳出血＋脳梗塞）を心配しやすいが、実際の外来では受診者の1割ほどにも満たない者が要治療となるに止まることが多いとのこと。ＣＴやＭＲＩの検査は費用も時間も掛かるが、それでも市販の頭痛薬を多用することも得策ではなく、緊急の場合には、迷わず救急車での病院搬送を決断しなくてはならないことも覚えておいてほしい。でなければ「命」を助ける機会を逸してしまうことがあり、時間の経過と救命率は反比例すると解説されました。

## 「千秋中学校区学校運営協議会」開催

5月11日（土）10時～、千秋公民館において第一回千秋中学校区学校運営協議会を開催しました。

この協議会は、今年で4年目。学校・保護者・地域相互の信頼関係を深め、千秋町の子どもたちの豊かな学びと育ちの創造をめざすことを目的に、学校運営協議会（コミュニティスクール）スタートしました。

全体会では、会長の河原毅さんから「この運営協議会は、学校と地域との信頼関係を深める場です。千秋の子ども達をよくするためにみんなで力をあわせてやっていきましょう。本年度もよろしくお願いします。」とのあいさつがありました。その後、昨年度の経過報告と本年度の活動計画を検討しました。

全体会終了後、各学校に分かれ、本年度の学校教育方針、行事計画、学校・家庭・地域の連携などについて、委員の方から質問やご意見をいただきました。

〔←写真は講演する山口医師〕

# 一宮市陸上選手権大会開催

一宮市陸上選手権大会が5月18日（土）に、愛知県一宮総合運動場で開催されました。

千秋三小学校の活躍を紹介します。

## 千秋小 千秋っ子 大健闘

千秋小では、4月30日から授業後、毎日、大会に向けて練習に取り組みました。

「夢をつかめ　千秋っ子」の言葉を胸に、それぞれの選手が力を出しきって頑張りました。

その中でも、女子の100ｍ走5位、女子のリレーが6位に入賞するなど、すばらしい成績をおさめました。保護者の皆様、応援ありがとうございました。

〔写真右下〕

## 千秋南小 がんばった千南っ子

陸上選手権を目指して、選手の児童は熱心に取り組んできました。

大会当日は、日差しが照りつける中にも関わらずベストを尽くし、練習の成果を十分に発揮することができました。

惜しくも入賞することはできませんでしたが、緊張感の中にも精いっぱいがんばった顔には、力を出し尽くした後の充実感が見受けられました。

選手の皆さんには、今回の選手権で得た自信と経験を、今後の学校生活に十分生かしてほしいと思います。

暑い中にも関わらず、最後まで声援を送っていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

## 千秋東小「男子リレー2位おめでとう！」

大会に向けて四月の中旬から、練習に取り組みがんばりました。成績は男子四百メートルリレー二位、男子百メートル六位でした。どの子も競技の前は緊張していましたが、一人一人が持てる力を十分に発揮することができました。当日は、たくさんの保護者の方々の応援ありがとうございました。

## 市相撲大会 ～千秋中　強い気持ちでぶつかりました～

力と力のぶつかり合い、そして 小さな者が大きな者に勝つというのも 相撲の醍醐味です。千秋中相撲部はそんな魅力ある闘いを 繰り広げてくれました。5月18日(土)大宮公園相撲場にて一宮市相撲大会が開催されました。本校からは8名の選手が出場しました。

小柄で いつもは小さく見える選手たちが、土俵ではとても大きく見えました。自分より 一回りは大きい相手に立ち向かっていく姿勢で、会場を沸かし、団体戦ではベスト8進出。初戦を落とし、あとがない状況からの 3連勝は、まさに選手たちの強い気持ちの表れだった と思います。 勇気と感動をありがとう！。

〔写真は裏面上部に掲載←〕

**平成25年度　愛知県警察官及び警察職員採用試験(9月実施)のご案内**

| | 警察官 | | 警察職員 |
|---|---|---|---|
| 試験の種別 | 警察官(A)第2回 | 警察官(B) | 第2回警察職員 |
| 試験の程度 | 大学卒業程度 | 高等学校卒業程度 | 高等学校卒業程度 |
| 受験案内・申込書の配布開始日 | 7月2日(火) | | |
| 受付期間 | 8月19日(月)～9月4日(水) | | |
| 第一次試験日 | 9月22日(日) | | 9月29日(日) |

※　お問合せは、一宮警察署　24-0110　警務課または地域総務係まで

# 一宮警察署からのお知らせ

## 水の事故　危険はいつもすぐそこに

～ちょっとした注意が子どもを守ります～

昨年7月30日に木曽川で川遊びをしていた中学生(一宮市内の中学生ではありませんでしたが、)3人が流され、尊い生命を失っています。水の事故は、「慣れ、過信といった気の緩み」や「ちょっとした油断」から発生しています。

これからの暑い季節は、川辺でのレジャーの機会も多くなりますが、その分危険も身近に起きる可能性が高くなるということを十分認識した上で楽しんでいただけたらと思います。

### ◎油断大敵

○よく準備運動をしてからゆっくり水に入りましょう。

○飲酒しての遊泳は、絶対にやめましょう。

○遊泳禁止区域では、絶対泳がないようにしましょう。

○天候が悪くなったら、早めに水から上がりましょう。

○天候が良くても、事前に川の上流の天候や水位を確認しましょう。

○警報、サイレンが聞こえたら、急な増水に注意しましょう。

○避難時の警告を受けた場合は、必ずその指示に従いましょう。

### ◎子どもの事故防止

子どもの水の事故は、親が目を離したその一瞬から発生します。

○危険な場所へ行かないよう、日頃から親子で話をしておきましょう。また、子どもたちが、危険な場所で遊んでいたら、「危ない！」と声を掛けてやめさせましょう。

○川には急流や深みなど様々な危険が隠れています。遊び慣れた川でも子どもだけで川に入らないようにしましょう。

○子どもを水遊びさせる場合は、子どもから絶対に目を離さないようにしましょう。

○プールだからといって、安心せずに見守りましょう。

○不意に友達が川や池に落ちたりしたら、大声を出し近くにいる大人に知らせるよう日頃から子どもに教えておきましょう。

○泳げても浮き輪を持って出掛けましょう。

○近くの池や用水等の防護柵、注意看板等が壊れていたら、管理者等に連絡し修理依頼してください。

## 防ごう！水の事故